

press release

---

たましん歴史・美術館 企画展

小貫政之助展  
－ 生きた時代の証言 －

平成29年3月21日(火)～6月25日(日)



たましん歴史・美術館

〒186-8686

東京都国立市中 1-9-52 たましん国立支店 6F

TEL 042-574-1360 FAX 042-577-5070

<http://www.tamashin.or.jp>

## 【展覧会概要】

**展覧会名** 小貫政之助展—生きた時代の証言—（キャッチコピー：人間存在とは何であるのか）  
**会 期** 平成 29 年 3 月 21 日（火）～6 月 25 日（日）  
**会 場** たましん歴史・美術館  
〒186-8686 東京都国立市中 1-9-52（たましん国立支店 6F）  
**開館時間** 10:00～18:00 ※入館は 17:30 まで  
**休 館 日** 月曜・祝日  
**観 覧 料** 300 円（中学生以下無料）

## 【開催趣旨・概略（145 字）】

画面を削る鋭い描線、抑制された色彩によって多様性溢れる独自の女性像を生み出した洋画家・小貫政之助(1925-1988)。その代表的な人物画、抽象画、版画約 24 点と関連資料によって、孤高の芸術を展覧します。あわせてコレクションから同時代に活躍した作家たちをとり上げ、画家の生きた時代の絵画表現についてご紹介します。

## 【開催趣旨・詳細（402 字）】

洋画家・小貫政之助(1925－1988)は東京に生まれ、太平洋美術学校に学び、初期は佐伯祐三やブラマンクの影響を受けフォービズムに傾倒、世紀末芸術やキュビズムの影響を受けながらも独自の表現を確立し、昭和 28 年、28 歳のとき美術評論家の瀧口修造の推薦で個展を開きます。芸術は孤独な精神活動であると考え、43 年、長く発表の場とした自由美術展を退会。その後、個展・グループ展で作品を発表するほか、小説家・黒岩重吾の装画も数多く手掛けました。本展では、油彩画《自画像》を中心に、小貫の代表的なモチーフである女を描いた人物画、抽象画、版画 24 点と関連資料によって、孤高の芸術をご紹介します。また、時代を牽引したブラマンク、岡田三郎助の表現、発表の場とした自由美術展やグループ展の作家たち、弟子である栗原一郎(1939－)の作品から同時代の影響関係を紐解きます。本展が小貫政之助の創り上げた芸術と、生きた時代について再考する機会となれば幸いです。

## 【関連催事】

展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

4 月 21 日（金）、5 月 26 日（金）いずれも 14:00～ ※参加無料、要入館

## 【問い合わせ先】

公益財団法人 たましん地域文化財団

〒186-8686 東京都国立市中 1-9-52

Tel.042-574-1360 Fax.042-577-5070 <http://www.tamashin.or.jp>

広報・写真貸出しについて [info@tamashin.or.jp](mailto:info@tamashin.or.jp)

### 【小貫政之助 (おぬき・まさのすけ) 略歴】

大正 14(1925)年 東京・京橋に生まれる  
昭和 19(1944)年 太平洋美術学校本科卒業  
昭和 20(1945)年 6月応召 陸軍浜松飛行師団に所属 8月復員  
昭和 21(1946)年 結婚  
昭和 22(1947)年 妻死去 現代美術会員になる  
昭和 25(1950)年 結婚 東京都福生市に転居  
昭和 26(1951)年 長男誕生(昭和 55年逝去)  
昭和 27(1952)年 第16回自由美術展 初出品 (昭和 31年会員推挙、43年退会)  
昭和 28(1953)年 美術評論家 瀧口修造の推薦によりタケミヤ画廊で個展をひらく  
昭和 31(1956)年 フォルム画廊(銀座)で個展(以降フォルム画廊にて個展、グループ展)  
昭和 40(1965)年 アルジェリア世界平和友好祭に出品  
昭和 44(1969)年 新潮社の依頼で『新潮』の目次、扉、カットの装画を担当(～昭和 62年)  
昭和 45(1970)年 黒岩重吾著書『蒼ざめた虹』以降、装画を担当(～昭和 61年)  
昭和 53(1978)年 小貫政之助銅版画集『小世界』フジテレビギャラリーより出版  
昭和 63(1988)年 逝去(享年 63)  
平成元(1989)年 池田 20世紀美術館「小貫政之助の世界」展 開催  
平成 4(1992)年 『小貫政之助作品集一業と魔性のポエジー』小貫政之助作品集出版委員会より出版  
平成 26(2014)年 伊丹市立工芸センター「小貫政之助作品展」開催

### 【記事掲載についてお願い】

- ・掲載にあたっては、正式名称と会期の表記をおこなってください。
- ・作品画像を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を併記してください。
- ・紙面掲載する電話番号は、[公益財団法人たましん地域文化財団 042-574-1360](tel:042-574-1360) でお願います。
- ・掲載記事およびVTRは、公益財団法人たましん地域文化財団藤森までご送付ください。
- ・取材及び記録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。

### <作品画像キャプション>

1. 小貫政之助《自画像》油彩、キャンバス
2. 小貫政之助《鳥と女》油彩、ミクストメディア、紙 39.4×27.2cm
3. 小貫政之助《女と梟》油彩、ミクストメディア、紙 38.1×21.5cm
4. 小貫政之助《作品》1962年 ミクストメディア、紙、キャンバス 28.2×40.5cm
5. 栗原一郎《裸婦》油彩、キャンバス F60
6. ブラマンク《古い教会》油彩、キャンバス 72.7×60.6cm
7. 岡田三郎助《水辺の柳》油彩、キャンバス 77.0×28.0cm



1



2



3



4



5



6



7